

ひがし

No. 251

56 10/20

広報

しらかわ

人口の動き

—9月末住民登録人口から

世帯数	939
人口	3,732
転入	8
転出	3
出生	2
死亡	4
先月と比較して3人増	
昨年と同月と比較して38人減	

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中郡



郷土歌舞伎
5回目の公演

昭和52年、26年ぶりに復活公演されて以来5回目を迎えた郷土歌舞伎の公演が、9月27日東白川中学校体育館で行われました。5回目を記念して村内の役職者らがふんする「お目見えだんまり」などを盛り込んでのことしの公演には、村内の愛好者や村外からの参観者も多く、観衆は約900人。大入り袋も配られました。

—写真は「鎌倉三代記」の一コマ

おもな

- 生活改善センター事業
- 6人のサムライが花
- 楽しい秋の日運動会
- だれでもできる健康体
- 防災モニターを設置
- 小・中学生の作品
- 村誌編さん室だより
- トビックス
- けいじ板はP2~5の

コミュニティーづくりの拠点

生活改善センター事業に着手



8月28日の起工式で、工事の安全を願って刈り初めの儀を行う村長
— 神付地内の生活改善センター建設予定地で

今年度は敷地造成など実施

神付地区を中心とする地域住民のコミュニティーづくりの場として、かねてより要望の強かった「生活改善センター」の建設が、今年度と来年度の継続事業として実施されることになり、現在敷地造成と取り付け道路工事が進められています。

重要な位置 占める 婦人活動

神付地区は、本村の基幹作物である茶、養蚕、肉牛などの中核農家が多く、また、近年の水田再編対策により、婦人園芸グループによるピーマン、いんげんなどの栽培も積極的に行われてきました。

このため生活面はもとより、生産面でも婦人が重要な位置を占め、その活動の拠点となる施設の建設が急務となっていました。

施設の目玉は 農産加工実習室

八月二十八日に起工式が行われスタートした生活改善センター

けいじはん

■戸籍の窓 (九月)
— 敬称略 —



誕生おめでとう
ございます

(平) 佐橋 正典 (けいこ)
節子 (慶子)
(長女)
(平) 安江 政次 (あんり)
杏里 (長女)
春巴 (長女)



いつまでも
おしあわせに

田口 和博 (平)
村雲 悦子 (神付)



おくやみ
申しあげます

島倉さきの 92歳 (下親田)
古田 忠一 80歳 (上親田)
安江 美和 46歳 (中通)
林 一枝 86歳 (平)

■善意の寄付

次のような寄付がありました。それぞれの意志にそって活用させていただきます。ありがとうございます。

— 敬称略 —
「社会福祉費へ」



一の敷地造成事業は、第三期山村振興農林漁業対策事業によるもので、今年度は敷地造成と取り付け道路をつくり、来年度に建物を建設するというもの。

施設の主要は、鉄骨平屋建て長尺鉄板ぶき百九十九平方メートル約百人を収容できる大集会室をはじめ、四十〜五十人収容の研修室、小人数の利用を考えた営農相談室のほか、なんといつても目玉は農産加工実習室です。

十数人での調理実習や各種集会の湯茶、食事に使用できるほか、みそ、つけものなど保存食品の調理実習、米の消費拡大調理実習などに利用できます。

完成後はこんなふうにご利用

生活改善センター完成後を予想した利用の一例を紹介してみますと、まず大集会室はお茶の栽培講習、水田再編対策説明会など大規模な集会に利用できます。また、村が行う成人病検診など、広いスペースを必要とする事業にもつてこの部屋です。研修室と名付けられる二十畳の和室は、農業後継者の研修、農作物の検討会、また、ふとんつくり講習など、婦人の生活改善の研修にも利用できます。

農産加工実習室は、ひと口にいつて村民センター三階の栄養改善室の縮小版ということができそうです。

大型の冷凍冷蔵庫、瞬間湯沸かし器、ガスオーブン、ガステーブル、炊飯器、作業台、盛り付け台などを備えます。このほか、ガス回転がまが備えられるのが特徴。先にも述べたように山採加工やみそ、おやつ、トウフ、こんにやくなどを一度にたくさん作ることができます。

このほか、十人程度の会議、たとえば農作物などの営農相談、老人クラブや婦人グループの健康相談に利用していただく営農相談室があります。

多目的利用で生活の改善を

建物が具体的にどんな形になるのか、どんなふうにご利用されるのかは今のところ想像上のものでしかありません。

地域住民のコミュニティづくりの拠点として、みなさんの多目的な利用と前向きな姿勢を通じ、地域のかかえている問題を解決し、総合的な農村生活の改善を推し進める施設という意味で、そのお目見えが待ち遠しいところです。

現金十五万円―古田忠（上親田）、同三万円―林一巳（平田）
 『東白川中学校へ』
 生徒用粉茶一缶―白川物産
 『東白川小学校へ』
 ぞうきん二十枚―婦人会神土支部、ウサギ飼育小屋一・黒ウサギ二匹―村雲義巳（神付）
 色ゴイ十五匹―安江義勝（上親田）

■表彰―敬称略

- 『中学校』
- 坂井杯剣道大会―男子の部優勝
- 中部日本吹奏楽コンクール―準優勝
- 少年の主張可茂地区大会―優秀賞（村雲憲、今井裕香）
- 砂防事業100年記念作文、絵画コンクール
- （絵画の部）▽佳作―増谷美里▽準佳作―今井美晴
- （作文の部）▽佳作―安江まなみ、古田香、村雲一元、増谷美里▽準佳作―古田泰之、交告雅子、田口宗博、島倉美代、村雲まり子、田口敦子、古田浩子
- 郡中学校科学作品展▽金賞―水を使わない瞬間冷却剤の研究（安江利光・田口寛久）、炭酸飲料は菌をおかすか（村瀬まゆみ・中山恵）▽銀賞―なぜ白川、黒川、赤川なのか

グループで花づくり

柏本 六人のサムライ

水田再編対策によって減反した水田を有効に利用し、米に変わる作物を育てようと、柏本の二十歳から四十歳までの人たち六人が、共同で花づくりを始めました。米づくりが年とともに厳しくなっている今日、新しい時代の農業を自分たちの手で切り開こうとする動きとして期待が寄せられています。

小面積で高収益を

花づくりに挑戦したのは、柏本で農業を柱に生計を立てている古田徳、栗本忠一、栗本義和、栗本重秋、安江弘武、田口昌克さんら六人。

栗本重秋さんをリーダーとするこのグループは、基盤整備実施後も水田の二、三割の減反実施はまぬがれないところからこの水田を利用しようと始められたのがこの花づくりです。

栗本さんの談によれば「減反は全国どこでも行われるものだから、容易にできない上、小面積で収益が高いもの」というのが決め手となったそうです。

さらに栗本さんは「花づくりは一年じゅうできるが、とくに冬期に女性の仕事としてできるようにプランを立てた」と話されます。

また、グループで始めた理由は▽花の市場は産地を重要としているため、個々にわずかな出

荷をするより、ある程度まとまった量を出荷し産地化をめざす▽初の試みだけに互いに助け合える▽花づくり以外の仕事でも共同でできるようにする——ということでした。

価格はますます

同グループは六月にカーネーション千五百本を定植、次いで七月にはアスター〇二畝の種まきをし、今ではレナ・ロメオ・スケニアなど七種のカーネーションと、二種のアスターが色とりどりの花をつけ、所狭しと咲き競っています。

収穫の時期は、カーネーションは一回目が八月から十一月、二回目は十二月で、二回合わせで約五千本の予定。アスターは九月から十月にかけて三千五百本余りの収穫があり、価格はますますの結果ということでした。

当初の計画では、これら収穫した花は市場へ出荷することになっていましたが、村内や白川

わいばん

(古田みゆき・高木ふみ子)
太陽熱の研究(佐藤克行)▽
銅賞—温度の保ちかた(今井誠・栗本文良)、翼の形と空気の流れ(田口泰宏)、ねり歯みがきの水面での運動(安江和範・安江輝彦)

『小学校』

○第一回加茂郡少年野球夏季大会—優勝(東白川野球クラブ)

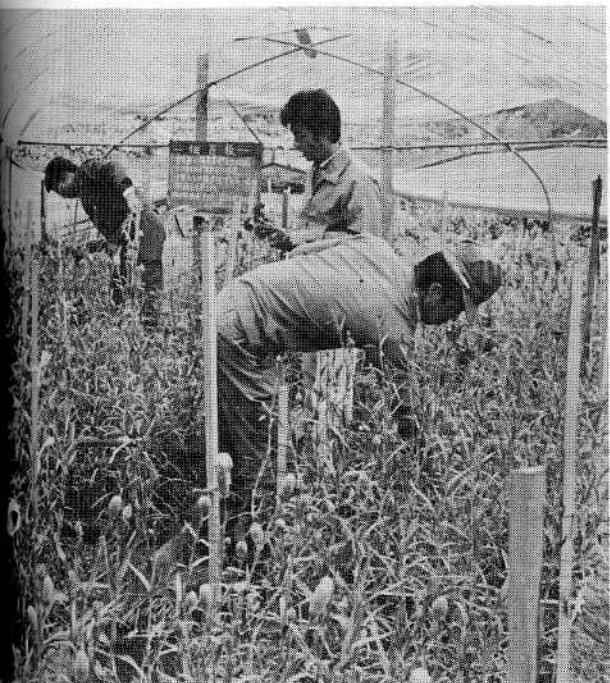
郵便局だより

「郵便貯金」村への融資は七億円余り

郵便貯金は、創業以来私たちの生活と密着した「暮らしの中の貯金」として、厚い信頼と幅広い支持のもとに堅実な歩みを続けています。

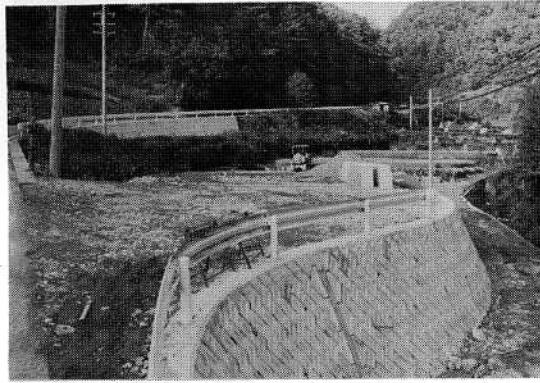
一方、預けられた貯金は国の財政投融資の大きな柱として、私たちの暮らしと関係の深い住宅の建設、生活環境の整備、道路の拡充など、住民福祉の向上と経済の発展に大きく貢献しています。

本村へはこれまでに七億一千九百三十四万円が融資されており、その内訳は村道・農林道など道路、村民センターや学校の建設、最近では、越



東消防署が完成

分遣所は来年9月平地内に



来年9月末の完成を目指して工事が始められた分遣所の敷地造成 — 平地内へ

ことし四月から私たちの村も可茂消防事務組合へ加入しました。そして、このほど村を管轄する東消防署が白川町河岐に建設され、消防タンク車一台、救急車一台、広報車一台が配置さ

れ、本格的に消防、救急業務が二十四時間体制で開始されました。私たちの村には、来年九月末までに東消防署の分遣所が平地内に建設され、昭和五十七年十

カーネーションの収穫に追われるメンバーたち — ビニールハウス内で



目指すは産地化

町からの注文が多く、ことしはすべて村内、白川町でさばけたということでした。

ことしは初めての年でもあり、一町のビニールハウスでカーネーションを、またアスターは戸外で試験的に栽培に取り組み

たわけですが、これまでのところはまだまずだったようです。六人のサムライたちは「来年には十町の温室二棟と十町のビニールハウス四棟を、さらに二、三年のうち十町の温室七棟、五町のビニールハウス十棟へと規模を拡大し、本格的な産地化を目指したい」と夢は大きくふくらんでいます。

月から本格的な業務が行われることとなります。その間の業務を説明しますと、

業務を開始するまでは、火災、救急業務ともに十分な体制ではありませんのでご了承ください。

◇

火災時の出動については、本村で火災が発生して白川町から出動していますと、二、三十分かかるため、火災の状況に応じて出動することになります。

また、交通事故などによるケガ人や急病などに対する救急出動についても、本村を含めた活動を行います。白川町からの出動です。時間要します。

火災、救急出動の要請は、一九番を使用してください。本村内に分遣所ができるまでは、有線電話はもちろんのこと、公社電話も役場へ入ることになっています。したがって役場で取り次ぐこととなります。

このように消防署は業務を開始しましたが、分遣所が完成し

次のような業務の申請や届け出は可茂消防事務組合東消防署で取り扱っています。関係書類は直接東消防署へ提出してください。

- ▽建物（個人の住宅は除く）に設置する消火器、自動火災報知器、誘導灯などの設置指導と検査
- ▽ガソリン、灯油など危険物の貯蔵、取扱施設の許可や検査
- ▽建物の新築や改築にかかる建築物の確認同意。

『連絡先』

加茂郡白川町河岐一八七三—二
可茂消防事務組合東消防署
電(05747)211641

けいせいはん

原・五加の運動場の建設にも融資を受けています。郵政省では、こうした郵便貯金の働きを広くみなさんに知ってもらおう——と、十月を「郵便貯金月間」と定め、毎年期間中には各郵便局でいろいろな行事が行われています。

私たちもこの機会に、郵便貯金についての認識を深めたものです。

村内の米寿者に 郵政大臣からお祝い

毎年「敬老の日」にちなんで、郵政省では米寿を迎えられた人たちに、大臣からのお祝い状と記念品を贈り、その長寿を祝っています。

本村でことし米寿を迎えられたのは七人。去る九月十五日に、東白川郵便局長がそれぞれのお宅を訪問し、大臣からのお祝い状と記念品を伝達し長寿を祝いました。

大臣からの伝達を受けられたのは次のみなさんです。

— 敬称略 —

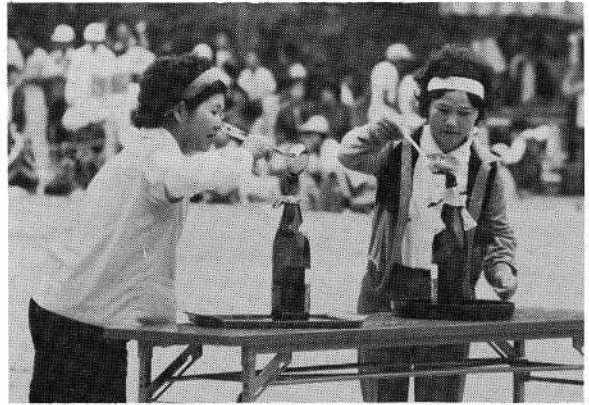
田口彦五郎（西洞）、木村保一（上親田）、安江佐一郎（下親田）、安江錠之助（栃山）、安江きい（日向）、今井とも（宮代）、桂川たか（栃山）

越原区民運動会

写真で再現

楽しい秋の日運動会

秋の訪れとともにスポーツのシーズンがやってきました。保育園、小学校の運動会のほか、ことし四月にオープンした越原と五加の運動場では区民運動会が行われました。本号では写真でそれぞれの運動会を再現してみましよう。

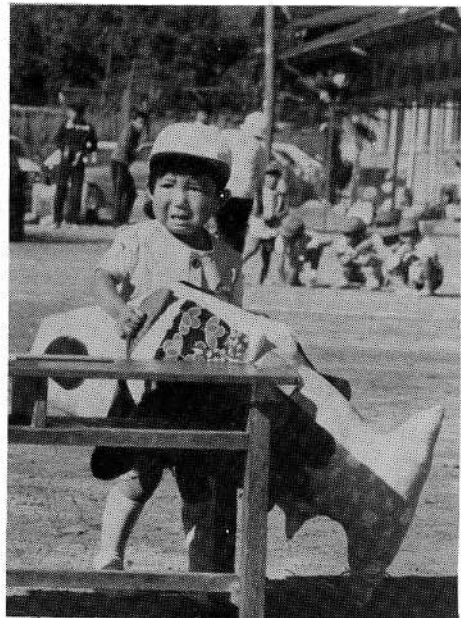


適当に落ちついて、適当に早く……
—婦人会員による「一升の水とは」

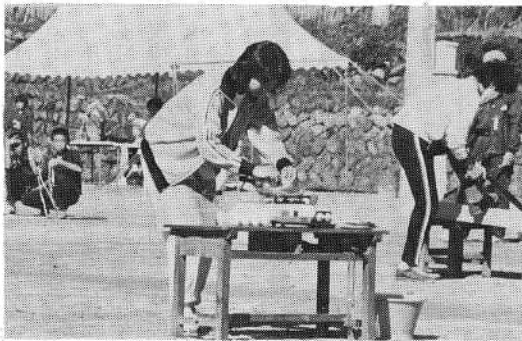


出場希望の多かった飲み物の競争。
飲みものはビール。でもストローで飲むのはむづかしそう

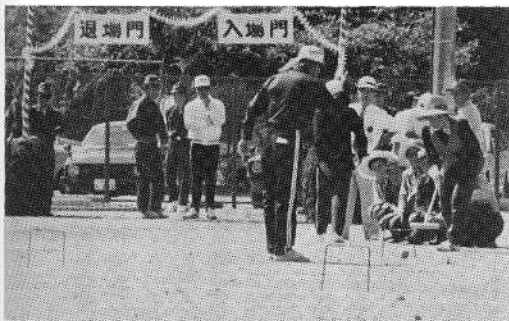
五加区民運動会



お魚が重いよー。お母さん助けて!!
—保育園児による「大きな魚と小さな魚」



早く木を切ってネ。切り終わったら「こはんですよ」
—青年・高校生



お年寄りたちも自慢のウデでハッスルしました
—ゲートボールリレー



みんないっしょうけんめい走りました
— 地区別対抗リレー —



小学校運動会

みんなの力を合わせて：
— 四、五年生の組み立て体操 —



お父さんやお母さんたちもガン
バりました — つなひきの「コマ



接戦になると声援にも熱が入り
ます

神土保育園運動会



親子で楽しく騎馬戦

一般、壮年の部に30チーム参加

村民親ぼくソフトボール大会

秋のスポーツ行事の皮切り
となった村民親ぼくソフトボ
ール大会は、九月十三日に総
合運動場と小学校校庭で行わ
れ、一般の部に十六チーム、
壮年の部に十四チームが参加
それぞれ優勝目指して熱戦を
繰り広げました。

当日の結果は次のとおり。

『一般の部』

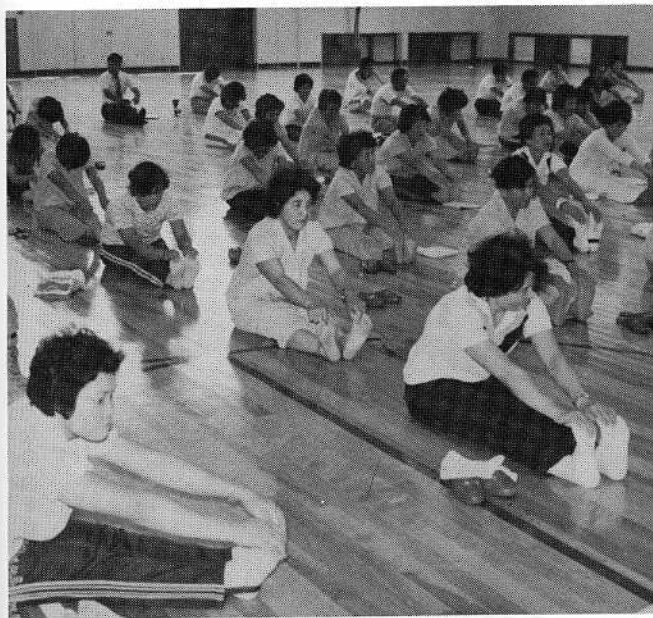
- 優勝 中通・神付チーム
 - 準優勝 平西チーム
 - 三位 大口・西洞チーム
- 〃 宮代・下野・久須見
チーム

『壮年の部』

- 優勝 陰地上チーム
 - 準優勝 平西チーム
 - 三位 大明神チーム
- 〃 柏本チーム



熱戦が繰り広げられた壮年の部
— 東白川小学校校庭で



なかなか好評だった健康体操講習会
—東白川小学校体育館で

好評だった健康体操

50歳以上の人に最適

九月七日、東白川小学校体育館で、健康体操講習会が開かれました。

この催しは、岐阜県健康づくり連絡協議会の協力を得て、本村の中央婦人教養講座の学習の一つとして開かれたもので、会場となった小学校体育館には郡内の各町村からも参加があり、総勢八十五人が集まりました。指導には、七十九歳の先生とそのこどもさん二人があたられ三時間にわたって実技指導されました。

健康体操といえば、女性の美

容体操を連想しがちですが、今回の健康体操は、「いつでも、だれでも気軽にできる」をモットーに、日ごろあまり使うことのない筋肉を使い、血液循環をよくし、健康保持と体力増強を図ろうというものです。

本村では、これまで村民総参加のスポーツ活動を推し進めてきましたが、五十歳以上の人に対するスポーツ振興に頭を痛めていました。

三年ほど前から、急激に普及しつつあるゲートボールによって高齢者のスポーツは、ある程度考えなくてもよくなってきましたが、残る五十歳代のスポーツ振興を考えていた矢先、この健康体操講習会が開かれたわけです。その意味で手ごろで最適

腰を伸ばして老人まつり

第七回老人まつりが、九月十五日に東白川小学校体育館で開かれ、村内のお年寄りや来賓ら三百人余りが参加し、玉入れやボール送りなど八種目の競技を楽しました。

日ごろ腰を伸ばして運動する機会の少ないお年寄りたちも、この日ばかりはハッスル。年齢を感じさせないはつらつとしたプレーが続出し場内をわかせる

な運動ともいえます。

当日の参加者は婦人がほとんど。先生の指導のもと、一人で行う体操や二人組みになって行う体操など、熱心に教わっていました。

参加した五十歳代の人に聞いてみますと、「自分の体力に合わせて行うことができ、体も楽になった。できることなら続けて教わりたい」「想像したよりかんとんにできた。自分の健康のためにもぜひ続けたい」などなかなかの好評。

今後は、この健康体操を普及させるため、指導員の養成が急務のようです。そして、それぞの地域で健康体操のグループが生まれてくることが望ましいようです。



写真は、二つ目の競技「豆で暮らす」の一コマ。

現金の贈り方

冠婚葬祭やお見舞い、せんべつ、卒業や就職祝いなどには、よく現金を贈ります。とくに、相手が目下の人の場合は実質的で、喜ばれる贈り物です。

贈るときは、新しい札をそろえてのし袋に入れて差し出し、郵送するときも、のし袋に入れてから現金書留で送ります。

表書きの書き方は、包みの上段中央に表書きのことは、左肩にあて名を書きます。下段の中央には自分の名前を書き、連名のときは、目上の人の名を右に書きます。また代表で一人の名前を書くときは、中央に書いて左下に「外一同」と記します。

金額は裏に、中包みにも金額と名前を書いておきましょう。

現金が贈りにくい相手には商品券やギフト券が贈りやすいものです。商品券には一割の税金がかかりますから、贈る側はそれを計算に入れておく必要があります。

ギフトチェックは、全国のおもな銀行でとり扱っており無税です。銀行でそのまま換金したり預金したりできます。

季節の話題

季節の話題

局地的な豪雨に備えて

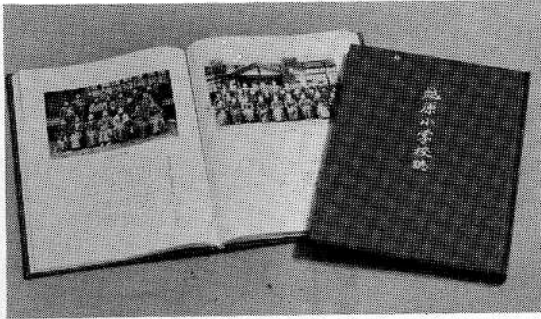
防災モニターを設置

村では台風シーズン前に、局地的な豪雨などによる河川のはんらんや災害に備えて、このほど防災モニターを設置しました。

白川に注ぐ支川の上流に位置していることが望ましいため、モニターには大明神の田口迪夫

さんと神付の村雲康平さんをお願いしました。

モニター宅には、さつそく雨量計がセットされ、今後大雨や台風など注意報や警報が発令されたときには、雨量や状態などをモニターと連絡を密にし、本村の防災体制を強化しようとい



発刊された越原小学校誌

写真などふんだんに盛り込み

越原小学校誌が発刊

越原小学校誌編さん委員会（熊沢健代表・11人）が、昭和53年3月から進めていた「越原小学校誌」がこのほど発刊となりました。

同誌には、明治6年当時の日向座を仮校舎として「越原義校」が創設されてから、南北2校時代を経て、昭和54年度末の閉校までの歴史がつづられています。そのほか、越原小学校に奉職された先生がたの名簿、明治41年の南北統合以来の卒業生名簿、100点を超える写真などふんだんに盛り込んであります。

同誌は1部2,000円。1,000部の限定出版で、現在300冊ほど余裕があるようです。

ご希望のかたは次へお早めに申し込んでください。

- 田口迪夫 (TEL---3047 有線---3693)
- 熊沢 健 (TEL---3016 有線---3562)
- 桂川敬言 (TEL---2579 有線---3467)
- 松岡 諄 (TEL---2520 有線---3385)



村雲康平さん (神付)



田口迪夫さん (大明神)

うものです。今回委嘱したモニターお二人の活躍を期待するとともに、村ぐるみの防災体制を確立して行きたいものです。

暮らしと健康



秋の肥満防止 ㊦

食生活の中でこれらをあまりたくさんとらないようにし、肥満を予防することがたいせつです。

秋になり、朝夕涼しくなつてくると、体内のビタミンB1の消耗も少なくなり、胃液の酸度も強くなって食欲がでてきます。

食事がおいしく食べられることは、健康なしるしですが、肥満が気になります。

肥満という状態をわかりやすく説明すると、心臓というエンジンに対して、許容能力以上の重い荷物を載せているわけです。

荷物が過重の負担となり、エンジンはずかりたがり、そのほかいろいろな部品も傷んできます。

食べすぎ、運動不足は太るもと

肥満は摂取カロリーと消費カロリーのアンバランスによって起こります。つまり、おいしいものを腹いっぱい食べ、運動不足などのために食べた分の消費ができないわけです。脂肪はタンパク質や炭水化物の二倍以上のカロリーがあ

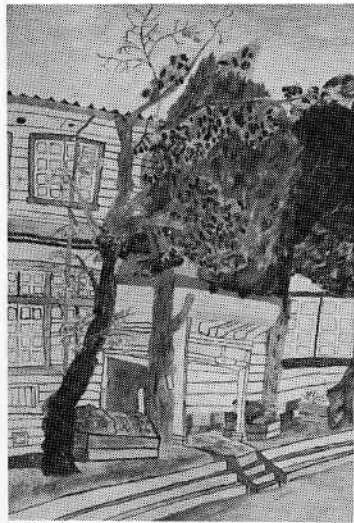
り「太るもと」のようなものです。毎日の食生活の中で、とりすぎないよう注意したいものです。

そのほか肥満につながる食品は、いうまでもなく糖質があります。糖は体内に入ると脂肪に変わるため、やはり肥満には大敵です。

菓子類、酒類、甘いジュース、果物などは意外に多くの糖分を含んでいます。日常の

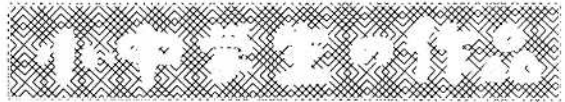
やけ食い、ムダ食いを慎もう

手っ取り早いストレス解消法に「やけ食い」というのがあります。人間はストレスがたまると、つい「食べる」という手近な本能に訴えて解消しようとしがちです。まとめ食いも肥満の原因。朝食抜きで昼にドカ食いをしたり、夜寝る前の食べすぎは禁物です。



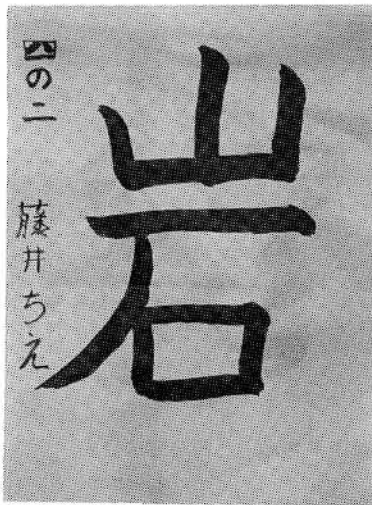
△東白川中一年 高井純子さん

このコーナーは作品の上手下手に関係なく掲載します。小・中学生のみなさん、自慢の作品(絵、書道など)を役場の総務課広報担当までどしどしお寄せください。



△東白川小五年

村雲滝夫くん



△東白川小四年

藤井ちえさん



△東白川中二年

古田浩子さん



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土田口良三宛に出してください。

○休耕田の雑草はみな実をつけて畦地に赤く彼岸花咲く

三戸 きり

新聞を読むに眼鏡は不要といふ八十三翁の声わかわかし

安江と志江

鶯哥にも春夏秋冬と雑かへす愛のふかさは神のころか

田口 すゞ

黄ばみたる稲穂ついでむ山鳩か糞がらあまた畦に散りぼふ

安江 澄

スピードの時代に生れし狸哀れ車が轆きぬ逃ぐる間もなく

村雲 孝次

○夕されば猪追ひの野火あかあかと稲田を照らし人影暗き

田口かづ子

偶に来しわが子の家に横たわり暮れゆく窓に蠅をさく

小池いちの

白く照る秋の夕陽の舗装路を過ぎりしと。かげは草むらに消ゆ

今井 惣十

○始めての年金の内を捧げむと今日産土の祭りへ急ぐ

今井 純子

明け切らぬ朝の散歩に伴れし犬道べに秋の螢を嗅げり

安江 守平

○休み日も濯ぎものあり花瓶の花替えたり妻の何かはしている

田口 圭二

お互ひにいたわり合ひてお蚕飼ひぬ六十路半ばの夫と吾は

安江 幸

◎髭剃れとかぼそくせがむ痛む父の真上より見る鼻は曲れり

加藤 公一

宵月に車待ちつつ野の道辺啼くすずむしの音を耳に追ふ

安江 香

国策の減反手伝ふいのししは今年表彰を受くるとか聞く

山川 冽

○巨大なる穴が宇宙にあるといふニュースを聴きて胸は戦げり

田口 良三

霊長類ヒト科動物図鑑

向田邦子



新刊です——中央公民館図書室

霊長類ヒト科動物図鑑

向田邦子

この本は「れいちょうるいヒトかどうぶつずかん」と読みます。

題名から想像すると、むづかしい内容の本にみえますが、実は作者向田邦子のエッセイ集です。

作者は、8月22日台湾での飛行機墜落事故で亡くなりました。

放送作家としてデビュー。「だいこの花」「あ・うん」などの代表作があり、今回のこの本が最後の作となりました。その意味からもぜひ目を通してみたい一冊です。

題名のとおり人間を動物的にとらえ51項目に分けて、作者や作者をとりまくさまざまな人間の素顔を冷静に観察し、人間の性格の図鑑ともいえるエッセイ集です。(啓)

伝説と民話



—村誌編さん室だより

四つ割碑と伝蔵(その二)

役人たちは、いろいろ考えたあげく、この文字を彫った信州高遠の石工伝蔵を呼び寄せた。伝蔵は神土に半月滞りして鋭いノミで碑を四つに割った。

「もつと細かく砕け」と役人は命じたが、名人気質の伝蔵は「仏道のため割らないのではござらぬ。わが会心の芸のためにこれ以上砕くにしのびませぬ」といい逃れた。その気迫は、六字の名号の雄こな筆勢とともに藩役人をたじろがせた。

藩庁にそのことが伝えられると、青山大参事は「それでもよい」といった。彼はこの四つ割碑をかつての切支丹踏絵の故事にならって踏石とするためだった。最初の踏石を科せられたのは当の伝蔵であった。

「失礼ながら、私は苗木県の住民ではありません。しかも先に申し上げたように精魂を傾けた自らの芸を、土足にかけることができません。国学をもって政治理念とされる苗木県のお役人のお言葉とも思われませぬ」と、石工伝蔵のすじのとお話がなかった。

厳しい廃仏毀釈のあらしの吹きまくっている村の人びとにと

って、この石工の言葉は胸のすくような小気味のよさであった。次々に村びとの踏石が行われている中で、伝蔵が信州へ帰る日が来た。四つに割られた碑に向かつて、役人の面前で堂々と「南無阿弥陀仏」と唱えて合掌した伝蔵に対して、役人はもはや口出しすることはできなかった。伝蔵は、そんな役人を尻目に、やがて白川街道を加子母に向かつて足早に立ち去っていった。(おわり)

▽今月の料理



ハムのはさみ揚げ(2人分)

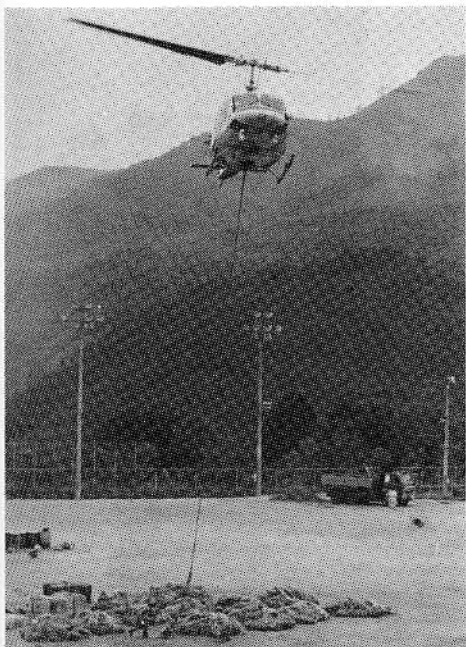
材料 玉ねぎみじん切り大さじ2、ゆでコーン大さじ3、ハム8枚、人参小1本、パイナップル4枚、グリーンピース1羽、レモン汁・こしょう・小麦粉・バター・パン粉・中白各少々
作り方 ①鍋にバターを入れて火にかけて、ゆでコーンと小麦粉少々を混ぜ合わせて炊め、火を止め8等分する。

②ハムを半分に切り、こしょうをふって①をはさむ。

③人参は1センチ角の長方形に切ってさつとゆで、パイナップルは小口切りにしてバターで炊め、中白、レモン各少々で調味し、ゆでグリーンピースはさつと炊める。

④②に小麦粉、溶き卵、パン粉の順につけて揚げ③と盛り合わせる。

——食欲の秋です。ご家庭でぜひ作ってみてください。



総合運動場が ヘリポートに

9月10日、中日本航空のヘリコプターが飛来。総合運動場がヘリポートがわりに一役買いました。

実はこれ、電電公社が桜峠に無線中継所を設置するため、工所用資材を運搬する臨時基地として使用したものです。

と ぴ つ く す

めずらしいものや、地区の話題など係(有線2185番)か、広報モニター(榊間一吉(平)、樋口新祐(西洞)、田口勉夫(大明神)、金尾竹雄(陰地)、栗本重秋(柏本)へお知らせください。

自然のいたずら 石に「山」の文字

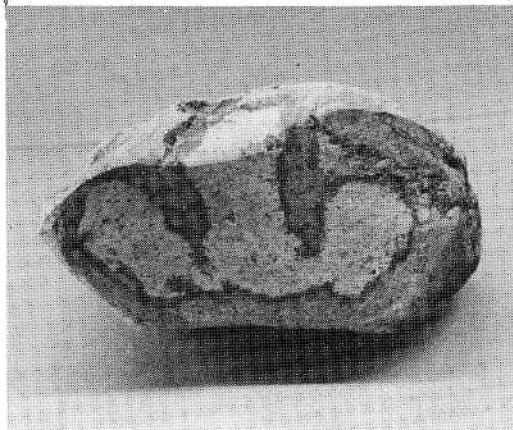
「山」の文字がくっきりと浮かび出た石がこのほど見つかりました=写真=。

この石は、名古屋市在住で長とろ地内に別荘を持っておられる堀部祥龍さん。

堀部さんは、左広川で魚つりをしていて見つけられ「山」の文字は、きっと何かで書いたものだろうと、表面を磨いてみると、よりくっきりと文字がでてきたそうです。

平の伊藤重雄さんによれば、全く自然にできたものということでした。

この自然のいたずらともいえる石は、現在堀部さんの別荘に置いてあるそうです。



暮らしのカレンダー

※第12回文化講演会

- ・とき 11月8日 13:00~15:00
- ・ところ 中学校体育館
- ことしは将棋と歌で活躍中の内藤国雄さんを講師に迎えます

※第6回読書講座

- ・とき 11月11日 13:00~15:00
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生
- 短歌・俳句の学習会

※乳児相談

- ・とき 11月11日
- ・ところ 母子健康センター
- ・対象者 56.6.1~8.31生まれの乳児と母親
- 医師による健診と身体計測を行います

※不燃物収集

- ・とき 11月12日
- ・ところ 村内各集荷場
- ごみは金物類、ガラス類に分け、前日の夕方最寄りの集荷場へ出してください

※第6回村誌解読講座

- ・とき 11月12日 13:00~15:00
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 講座生
- 信仰と生活(廃仏毀釈)

※第12回村民卓球大会

- ・とき 11月15日
- ・ところ 中学校体育館 8:30~15:00
- 地区別にチームを編成して多数ご参加ください。初心者もどしどしご参加を

※村民駅伝大会

- ・とき 11月22日 8:30~12:00
- ・ところ 中学校々庭から越原今井啓市さん宅前までの往復約9km、6区間
- 多数ご参加ください

※第6回芸能発表会

- ・とき 11月23日 12:00~16:00
- ・ところ 村民センター
- 村文化協会所属の7グループが練習の成果を発表します

※消防団秋季訓練

- ・とき 11月29日 13:00~
- ・ところ 総合運動場
- 全団員の出勤をお願いします